

3R瓦版（3月号）

負けるな!
エコ300くん
作：フジコイトウ



© 2013 フジコ イトウ All Rights Reserved.

森林再生活動について

◆森林大国・日本の森林の実態

日本の森林面積は2,500万ヘクタールで、森林率（国土面積に占める森林面積の割合）は67%。日本はフィンランドやスウェーデンに次ぐ、世界第3位の森林大国です。しかし日本の森林の41.2%は自然の森ではなく、人の手によって苗木を植え、種を蒔いて育てた森林で「人工林」と言います。人工林は殆どがスギ、ヒノキ、カラマツなどの針葉樹です。特に、1950年代、60年代以降、木材需要の高まりと共に、全国各地で天然林が伐採され、人工林に変えられていきました。

しかし、安価な輸入材の増加により国産材の需要が減り、採算の合わない人工林は放置されてしまいました。また、市街地周辺部の里山と呼ばれる山間部でも、かつての薪炭林などが放置され、自然生態系保全や獣害対策、景観の維持、不法投棄対策等から放置山林の手入れが必要な場所が増加してきました。

◆森林整備活動の広がり

手入れの行き届いていない人工林については、間伐や枝打ちをして林床植生を回復させ健全な人工林として維持していく一方、採算が取れない見込みのない人工林や、本来スギやヒノキの生育に適さない場所にある人工林については、天然林に近い状態である「多種多様な生物が住むことができ、災害防止機能・水源涵養機能のある森林」に還元していく必要があります。

■人工林の復元の事例



間伐前の暗いヒノキ林（30年生）



林床に植生が回復しつつある間伐林

ネイチャーおおさか Web ページより http://www.nature.or.jp/conservation/group/taishi_jinkorin.html

◆森林再生にむけて

みなさんにも、森林の整備活動への参加や、国産材の利用（建材や燃料としての薪やペレット）をご検討ください。

西本雅則（森林ボランティア）

（勤務先：KES1-0333 特定非営利活動法人きょうと NPO センター）

RepairFactory (株)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地

tel : 0774-46-4654